



子どもユニバーサルデザイン授業

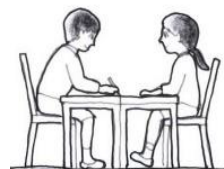
オリンピック・パラリンピックに向けて、子どもたちの多様性に関する理解を促進します。

小・中学生を対象に、ユニバーサルデザイン(UD)の授業や高齢者・障がい者の疑似体験を通して、多様性の理解とともに、現状の課題やUDの必要性についての気づきを得てもらうプログラムです。

授業内容例

★授業の目標・人数・時間によって内容をアレンジします。

調べる → 見学する → 体験する → 考える → 発表する



※子どもユニバーサルデザイン授業は「東京2020応援プログラム」として認証されました。

※2019年4月～2020年3月、首都圏の小・中学校で実施予定です。

インクルーシブデザインネットワークについて

私たちは、UDの視点で、ものづくりや街づくりの提案、心のバリアフリー教育などの活動を行い、多様な人々が公平に利益を享受できるインクルーシブな社会づくりに貢献します。

*インクルーシブ (inclusive) : 包摂的な、排除しない

その他の活動例

●親子で学ぼう、心のバリアフリー

「心のバリアフリー」の普及を目的に、親子で学ぶワークショップです。

●インクルーシブデザイン・ウォークラリー

障害者やデザイナーと一緒に街や観光地を歩き、バリアの現状を共有しながら、今後できることを協議・提案します。

●インクルーシブデザイン塾

インクルーシブデザイン視点で、社会ニーズが高く、市場競争力のある商品企画・開発力の習得を目的とする中小企業を対象に、ユーザー視点のものづくりセミナーや実際のものづくりステップでの指導や支援を行います。